

令和7年度卒業証書授与式（50回生）

校長式辞

寒さの中にも、やわらかな春の兆しを感じられるようになりました。本日ご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに第50回卒業証書授与式を盛大に挙げていきますことを、心よりお礼申し上げます。さて、ただ今卒業証書を授与いたしました二二六名の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者・ご家族の皆様、本日卒業という節目を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

期待と不安を抱きながらも、新しい学校生活に胸を躍らせていた入学の日から三年。皆さんは多くの経験を積み重ねてきました。日々の勉強だけでなく、仲間とともに汗を流した部活動、何度も話し合いを重ねて作り上げた学校行事、友人との何気ない会話や笑い声。時には思い悩み、つまづくこともあったでしょう。それでも皆さんは、その都度自分で選び、考え、行動し、今日のこの日へとたどり着きました。

皆さんが過ごした三年間は、まさに“正解の見えにくい時代”でした。人工知能AIの急速な発展、社会の分断、価値観の対立、相次ぐ自然災害、先行きの見通しにくい国際情勢。聞こえてくるのは、私たちがこれまで「当たり前」だと思っていた土台が揺らぐような出来事が続きました。同時に、SNSを通じて誰もが発信者となり、言葉が簡単に届く一方で、言葉が他者を深く傷つける現実も広がっています。情報が溢れ、何を信じ、どの声に耳を傾けるべきか迷うことも多かったでしょう。そんな時代の中で、皆さんは日々の学校生活や行事を懸命に積み重ねてきました。時に乗り換えなければならない困難や環境の変化に向き合いながら、仲間を支え、自分の進路と向き合ってきました。その姿は、私たち教職員にとっても大きな希望でもありました。

そして、今日の皆さんの門出にあたり、私はあるミュージシャンの曲に込められた想いを紹介したいと思います。知っている人もいると思いますが、それはRADWIMPSの「正解」という曲です。この曲には、人生にはあらかじめ決められた正しさや答えがあるわけではなく、私たちが歩むなかで模索し、選び取った道そのものが“自分にとっての正解”となっていく、というメッセージが込められています。

現代社会は、まさにその象徴のようです。AIが仕事の形を変え、価値観は多様化し、世界は予測のつかない速度で変わっています。誰も「これが絶対に正しい未来だ」と言い切れなくなったからこそ、私たちは自分自身で考え、選び、歩いていく必要があります。皆さんがこれまでにしてきた数えきれない選択——部活動が続けるかどうか、誰とどんな関係を築くのか、どの教科に力を入れるのか、そして進路をどう決めるのかと悩んだ日……。その一つ一つが、皆さんの“正解”をつくってきました。これから先、皆さんはさらに大きな選択と向き合うでしょう。そのたびに、「これでよかったのだろうか」と不安を抱くこともあるはずですが、しかし、どうか忘れないでください。正解は、歩き出す前に用意されているものではなく、歩き続けた先に、自分の足跡が刻み込んだ道そのものとして現れるのだということ。そして、現代社会が複雑になればなるほど、他者を尊重し、違いを認め合える力が重要になります。AIには決して真似できない、人を思いやる力、誰かの痛みに寄り添う力。それは、皆さんがこの三年間、舞子高校の学校生活で育んできた力です。困難な時代だからこそ、人とつながることの価値は決して揺らぎません。家族や友人、先生方、そしてこれから出会う人たち。あなたを支え、あなたが支えた経験は、どんな不確実な社会の中でも、必ずあなたの力になります。誰かが示す「正しさ」に縛られず、どうか自分の選んだ道に自信を持ってください。迷っても、遠回りしても構いません。思い通りにいかない日こそ、自分を信じ、対話を重ね、歩みを止めないでください。皆さんの未来には、不確実性と同じだけの可能性が広がっています。あなた自身の手で、あなた自身の“正解”を創り上げてください。私たち教職員は、これからも皆さんの未来を心から応援しています。そして時には、この学校で過ごした日々を思い出してください。あなたを信じ、あなたを支え、あなたの成長を喜んだ人たちがいたことを。

最後になりましたが、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様、保護者・ご家庭の皆様並びに地域の皆様には重ねてお礼を申しあげますとともに、今後とも本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。改めて卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんが舞子高校の卒業生であるという誇りと高い志を持って活躍してくれるとともに、皆さんの前に広がる未来に幸多からんことを、心よりお祈りして、式辞といたします。

令和八年二月二十七日 兵庫県立舞子高等学校 校長 富永 和典



卒業生代表 卒業証書授与



在校生代表 送辞



卒業生代表 答辞



校歌斉唱

